

「虹の森」通信

11月号　第121号

発行日　：２０２６年１０月２８日

発　行　：**虹技株式会社**
安全環境管理部 環境管理G
姫路市大津区勘兵衛町４丁目１
☎　０７９―２３６－３２５７

ソバの白い花が、咲き誇る季節となりました。　ソバはこの時期に白くて小さな花をいっぱい咲かせて、畑一面が真っ白になります。　遠目には美しいのですが、近寄るとちょっと独特なむっとした臭いがします。　人によってはこの臭いが苦手という人もいるでしょう。　ところが、虫たちにとってはいい香りのようで、多くの虫たちに受粉してもらおうと、これがソバの生き残り戦略なのです。　その匂いにフラフラ～っと誘われてその蜜を吸って受粉するのです。



それよりも先ず、ゆめさきの森公園の水害被害のその後です。　前号でお知らせしていましたが、公園に向かう道路の大規模な土砂崩れも、このように復旧し、車の通行にも支障がないよう整備されました。　しかし、公園内の林道は車を走行させるに困難なほどえぐれちゃって、こちらはまだまだ復旧に時間がかかりそうです。　虹の森への資材運搬も車では相当ゆっくり走らないと危険です。



こちらは水抜き清掃中の通宝寺池にやってきたカイツブリのつがいです。　水深が浅くなり好物の魚やカニなどが捕りやすくなって喜んでいるのでしょう。　カイツブリは古語で鳰（にお）と呼ばれてその昔、琵琶湖にこの鳥が沢山浮かんでいたことから、琵琶湖を別名「鳰の海」とも呼んでいたようで、滋賀県の県鳥となっています。　カイツブリのお饅頭も美味ですよね。



この羽がボロボロにみえているのは、旅する蝶で有名なアサギマダラです。　おそらくこの季節は寒さを逃れて南下する為、北海道や東北あたりからやってきたのではないでしょうか。　すごいファイターですよね。　さらに、彼らはこれから海を渡り台湾や香港にまで行くのだそうで、こんなに小さな身体なのにバイタリティがすごいなぁ。



大きなため池の通宝寺池の水抜き掃除は、小さな魚たちにとっては大災難の環境です。　写真のワカサギは本来、環境負荷に強く少々汚い水でも元気に生育するのですが、水がなくなるという異常事態にはさすがに耐えられませんでした。　かわいそうですが仕方ありません。　知っていれば、美味しくいただいたのに何とも残念です。でも、野生動物たちの仕業でしょう、翌朝にはすっかりなくなっていたそうです。

環境爺(じじい)のつぶやきコラム



最近思うのじゃが、歳をとると、これまた妙なところから毛が生えて来るのはなぜなんじゃろう。　頭髪は年々細り、頭皮はスカスカになってくるというのに、耳の穴辺りにボウボウと毛が生えてきたり、鼻毛が爆発的に生え伸びたりと、それは特にばあさんでなく爺さんに多いような・・・。　とにかくムダ毛の手入れが大変じゃ。　さらに、先日ふと気づくと、デコの生え際よりその下、つまり毛のない場所にヒョロ～っと白髪が生えた。　髪の毛か、はたまたムダ毛かと抜きそびれておったが、床屋でも気がつきながらその一本を抜こうとも切ろうともせん。　磯野波平さんのあの毛扱いか。　そう言や、何で白い毛って太くて頑丈なのじゃろう。　特に眉の白毛は太くておまけに長いし、取り扱いに困るのじゃ。　黒毛は加齢とともに腰がなくなりどんどん細くまびかれていくのに、白毛はその反対に進化を遂げる。　摩訶不思議じゃ。



さて、今回は名付けてゴミの品格についての話をしよう。　ワシが思うに、日本のゴミの取り扱いの丁寧さは世界最高水準じゃ。　産業廃棄物の分別再利用は徹底しておるし、廃棄物を洗浄して廃液を水処理に回すといった処理も珍しいことではない。　家庭ごみであっても最近は洗うのが珍しくはなくなっておる。　ほんの２０年前には、ゴミを洗って捨てるなんて発想はこれっぽっちもなかったが、スーパーマーケット等で、発砲トレーや透明トレーカバーなんかを再生するための回収ＢＯＸが常設され、そうするのが当たり前になった今、それらを洗うというのも普通になってきたのじゃ。　もちろん、アルミ缶、スチール缶、ＰＥＴの回収時にもそれらを一旦きれいにしてから分別もして、というのが習慣化してきておる。

一方　廃棄物を埋め立て処分する広大な土地を持つ大陸には、ゴミを洗うという文化は現在も全くないじゃろう。　欧州も中国も南北アメリカもアフリカもオーストラリアもみーんな大陸じゃ。　廃棄物の大半は埋め立て処分が主流じゃ。　どうせまとめて埋めてしまうモノを分別し、洗浄する意味がないという発想じゃろ。　欧米発祥の大量生産大量廃棄が日常茶飯となっておる彼らには、ゴミをせっせと洗っておる日本の文化なんぞ全く理解できるわけなかろうな。



だが日本でも実は分別も洗浄も全くせんケースはある。　企業や組織において、産業廃棄物は厳格な法律で規制されておるので、分別して再利用・再生利用することはその企業イメージにもかかわるし、なにより廃棄物の取り扱いを疎かにしては商売が成り立たなくなっておるので、まずそんなケースは少なかろう。　企業の社会的責任を果たす上で今や必須じゃからの。　それらをせんケースとは、家庭ごみに見られるのじゃ。



特に、高齢者世帯と独身者世帯は顕著じゃとワシは思うな。　と言うのは、ゴミの出し方でわかる。　他人の家のゴミを詮索しようなど思わんが、いい加減なゴミ出しをしてカラスの襲撃を受けてしまい、何度か後片付けさせられた経験から、それらがほぼ高齢者か独身者じゃったと言うわけじゃ。

高齢者世帯は分別や洗浄などしない時代を長く生きてきた世代じゃし、また、すでに社会参加していないケースも多く、新しい文化・常識に慣れず、アップデートしづらいのではないかと推察される。
独身者はともすると地域とのつながりが薄く、仕事以外で社会参加していない傾向もあるんじゃなかろうか。



これらは、あくまでワシの推察の域を超えんが、分別と洗浄の痕跡をワシはここでゴミの品格と名付けることにした。　むろん、大量消費で発生した食品くずなんかが混じっておるのは論外じゃ。　ゴミは発生量を極力抑えるのが基本じゃ。　「食べられる量を食べつくす。」「使えるものは使い倒してから捨てる。」「安易に捨てない。」「むだに買わない。」これらはゴミの品格になくてはならん考え方じゃ。

それでも、発生してしまうゴミはひと手間をかけて、分別・洗浄することでぐっと品格が上がるというもんじゃ。　家庭ごみの品格は、今やその家庭の品格を表すと言ってもいいじゃろう。



たっぷりの生ごみや、食品がべったりついたままのトレイや缶・ＰＥＴがごじゃまぜになっている品格最低のゴミを平気で捨てている世帯の品格は、言っちゃ悪いがやはり最低じゃと思う。　もしも企業がそんな品格で廃棄物を出していたら、他の会社から相手にされなくなるじゃろう。　その評判でおまんまの食い上げじゃ。　家庭ごみは特に排出に厳格な管理統制があるわけではないから、どうしても乱れがちになる。　でも、そこは欧米文化を見習う必要はない。　品格のあるゴミを心掛けることは、自然と環境を大切にする基本の心がまえ、日本の品格じゃ。



自然と環境は人間が快適に暮らせるよう最適のコンディションを保たねばならん。　ワシらがそのバランスを乱すようなことをしちゃいかん。　それは自分で自分の首を絞めるのに等しい行為じゃ。
「自然と環境の為に」なんて緩いことではなく、我々が快適に暮らすために自然と環境をコントロールすることが重要なのじゃ。



ゴミの品格から地球環境に話は飛んでしもうたが、ゴミの品格を保てんようでは、自然と環境は我々人間にしっぺ返しで襲ってくることになるぞと言いたいのじゃ。　奴らとは仲良くしていかねばな。　しっぺ返しは恐ろしいぞ～。　天が怒ると台風に豪雨豪雪、地が怒れば火山に地震、海が荒れると高潮に津波じゃ。　たかがゴミの品格で奴らが暴れるとは思わんが、要は心がけの問題じゃ。



話をもどすが、冒頭の白髪の件、減るよりは白毛でも太くて丈夫ならいいやと思っておったのじゃが、下の方に白毛を発見したときは「あぁ、ジジイじゃ・・」とちょっと落ち込んでしもうた。
ジジィの品格とは・・



虹の森なう

９月１４日に公園を襲った大雨による影響が、虹の森中に爪痕を残し、アクセス林道では敷き詰められていたバラスが全て押し流されて道がなくなり、機材を運ぶ車の乗り入れが困難になってしまいました。



さらに、活動拠点の東屋付近では石畳が一部で壊れ、小川の交差暗渠が詰まって氾濫し、土砂が散乱しています。　さらに虹の森の登山道もてっぽう水でえぐり取られて歩行しづらい状態です。　これまでの活動できれいに並べていた間伐材も流されてあちこちに散乱し、腐った樹が何本か根元から倒れ掛かっていました。



こりゃちょっとの間、えぐれまくった山道の補修と、森中に散らばり放題の間伐材の片付けをしなくちゃだめです。　春までには何とかしたいです。
みなさん、助けてくださ～～い。



１０月１２日（月・祝日）ゆめさきの森公園にて、稲刈りとさつまいも掘り体験を行いました。

ご覧のように、たくさんのちびっ子たちが参加してくれて楽しいひとときを過ごしました。　たわわに実ったこの稲は、春にみんなで田植えをしたもち米の稲です。　今回刈った稲を干して脱穀精米すれば今度は、それでお餅つき体験をしてもらえます。この一連の体験が子供たちのいい思い出になればと願います。



このちっちゃな彼女には大きなお芋を掘り起こすことは大変だったと思います。　でも、お母さんと一緒に芋掘りをして、そのお芋を美味しく食べた体験と記憶は、きっと次の世代にも引き継がれていくはずです。

第１１８回　森林整備の案内と参加者募集

各地で行われた秋のお祭りも終わり、ようやく涼しくなってきましたね。　紅葉を見ながら森林整備活動をしませんか。　上にも書いた通り、大雨のせいで荒れちゃってる森を整理整頓してスキっとさせる活動を行います。　とりあえず次回は「ゆめもりクラブ」と協力しながら公園内のあちらこちらの復旧作業を行う予定です。　もしかしてシイタケが出てきていればシイタケ刈りもできるかもです。

日　時　：　１１月１４日（土）　１０：００～１５：００（９：３０公園駐車場集合）

場　所　：　県立ゆめさきの森公園（虹の森）

申し込み：参加希望者は、環境管理Ｇ　的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。
的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。